

「はあ…すっげ…♡
これ…腰止まらねえ…な…♡」

「い…ぎっ…
んっんぎっん!!」

「ふ…っ
友希那ちゃんの為にも
頑張って締めるよ(笑)」

「ぐっ…んツギ…!」

「つか…
久々の初モノ…だから
昂って…ち●ぽ…や…ばい…♡」

「いっ…
あっぐ…んっん!!」

「はあ…はあ…
もう…俺限界…か…も…
臆^{なか}内イクぜ…リサちゃん…♡」

「っ!」



「な…かって…
ま…まさか…」

「ふ——っ！」

「ふ——ッ!!
リサま●こ種付け!!
俺のガキ産ませてやるッ!!」

「ひッ!!」

「い…嫌…やめ…んぐっん!!」

「ぐっ…おお…?」

「締まり良くなってきたじゃねえか?
初めてが種付けレ●プで感じてるのかよ」

「は…さては普段から
種付けレ●プされる妄想で
オナってるな?(笑)」

「ん…んっぐ…ひっんぐッ!!」

「(や…やあ…どうして…
レ●プ…で…)」

「お…お…♡」

「根元…から…ギチギチ…と…
そんな…俺のガキ…欲し…いのか…!」

「ふ——!!」

「(や…や…待って…まっ…で…
ク…る…グ…る…っ)」

「(や…やっ…いあ…いあああッ!!)」

「(やば…い…この…おねだり…っ!!)」

「(孕めっ孕め!俺のガキ孕めえええっ!!)」

「びん

「びん

「びん

「びん

「ふッ!!」

「ふッ!!」

「んんん—ツ!!」

「リサ孕め…孕…め…!」
初モノま●…こ…孕め…
俺のガキ…孕め…孕みやが…れ…っ」

「んっん…ぐ…っん…ん」

「ふい…リサちゃんが
種付けレ●プで感じるとか
友希那ちゃんが知ったら悲しむだろうな」

「ん…っ♡
ふ…ふ…♡」

ド
ン

びん
びん
びん

「まあ友希那ちゃんも
今ごろ種付けで
イキまくってたりして(笑)」

「っ!!
なっ…そん…な約束と…ひあ!!」

「へへっ
自分の心配した方がいいんじゃないか?
こっから本気でアへらしにイクからな♡」

「うっ…んぐ…んっ!!」
「い…いあ…やああアアああッ!!」

びん
びん
びん



—十数分後—

「いひやらあぁあアアあっ♡♡♡」

「へへっ雑魚ま●こ過ぎだろリサちゃん(笑)」

「ずっ♡ずっ♡とイっで♡イっでひっ♡
あだま壊れ♡ご♡ごわれアアあぁあっ♡」

「アへ声たまんねえ♡
ち●ぽガンガン刺激してきやがる♡」

「あっ♡あひやま♡壊れっ♡
ひやら♡いひやらあぁあッ♡♡♡」

「大好きな右の乳首も
グリグリ♡とね♡」

「ひあ!?!
んあアアアあぁあッ♡♡♡」



すっ♡

すっ♡

びん♡

「種付けイクぞ！ちゃんと俺のガキ孕めよりサ!!」

「ひやねツや♡ひやね付けひやら♡」

「あっあが♡赤ひゃんやらやああアアあっ♡」

「孕めっ孕めりサっ!!」

「種付けレ●プで孕めええっ!!」

「ひゃらああアアああアあっ♡♡♡」

びん♡

びん♡

「じ…搾り…とら…れ…っ♡」

「い…っおッ…あ♡」

「あ…あア…お…♡」

「ふ…俺のち●ぽ最高だろりサ?♡」

「…っ…あ…♡」

「…と…気絶しやがったか

壊すのも勿体ねえしちよい休ますから

…さてとそれじゃ友希那ちゃん種付けしにいくか♪」

びん♡

びん♡

びん♡

びん♡

びん♡

びん♡

びん♡

びん♡









